

2026年4月30日

各位

大阪信用金庫  
理事長 高井 嘉津義

## 定例調査：第207回 景気動向調査（1～3月期）

- ☆迫る中東リスク 強まる不安・・・売上DI△3.5ポイント 収益DI+0.1ポイント
- ☆バラック設備投資意欲・・・・・・・・・・・・・「予定あり」製造業・卸売業下落
- ☆問題点「仕入単価上昇」急伸・・・「仕入単価上昇」78.1%（前回比+8.9ポイント）
- ☆「賃上げ」ブレーキかかる・・・・・・・・・・・・・「実施予定」58.2%（昨年比△1.8ポイント）

### ●迫る中東リスク 強まる不安・・・・・・・・・・・・・売上DI△3.5ポイント 収益DI+0.1ポイント

総合では、売上DIは-6.0（前回比△3.5ポイント）、収益DIは-8.8（前回比+0.1ポイント）となりました。売上DIが前回比上昇したのは小売業が前回比+13.4ポイント、飲食業が+3.1ポイント、サービス業が+6.3ポイントの3業種、下落したのは製造業が△9.1ポイント、卸売業△0.5ポイント、運輸業が△25.7ポイント、不動産業が△13.7ポイントの4業種となり、明暗が分かれました。

依然続く物価高を背景に仕入価格は高騰し、十分な価格転嫁に苦しむ川下の中小企業では、収益性が悪化し賃上げへの対応にブレーキがかかっています。さらに、中東情勢の緊迫化により原油価格の高騰から燃料エネルギー価格をはじめ、幅広い物価の上昇を招き、長期化の様相を呈しています。

2026年4-6月期は、売上DIが2.8ポイント、収益DIが6.1ポイントそれぞれ下落すると予測しています。

### ●バラック設備投資意欲・・・・・・・・・・・・・「予定あり」製造業・卸売業下落

設備投資は、総合では「実施中」が15.7%（前回比+0.9ポイント）、「予定あり」が12.7%（前回比△0.8ポイント）で合計28.4%となりました。

特に、「予定あり」が前回比下落したのは、製造業が10.7%（前回比△2.7ポイント）、卸売業が5.7%（前回比△5.1ポイント）の2業種です。

### ●問題点「仕入単価上昇」急伸・・・・・・・・・・・・・「仕入単価上昇」78.1%（前回比+8.9ポイント）

経営上の問題点は、総合では「仕入単価上昇」が78.1%（前回比+8.9）、「一般経費増大」が51.4%（前回比+5.7ポイント）、「売上停滞減少」が42.8%（前回比△3.1ポイント）、「人手不足」が38.4%（前回比△4.7ポイント）となり、中東情勢不安を背景に「仕入単価上昇」が急伸しています。

### ●「賃上げ」ブレーキかかる・・・・・・・・・・・・・「実施予定」58.2%（昨年比△1.8ポイント）

「賃上げ」について、「実施予定」は58.2%（昨年比△1.8ポイント）となり、ブレーキがかかりました。特に、飲食業、建設業を除く全ての業種で前年比下落しています。

また、金額ベースでは、ベースアップ、定期昇給ともに「1,000円」未満と「5,000円以上」が増加し、二極化する傾向が見られました。

調査時点：2026年3月中旬～3月下旬  
対象期間：2026年1～2月期（実績）・3月（予想値） 2026年4～6月期（見通し）  
対象企業：当金庫お取引先1,435社（大阪府内、尼崎市）  
回答企業数：576社（回答率40.1%）（調査票郵送・Webで回答）

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

だいしん総合研究所（担当：平山・森）  
TEL：(06)6775-6590 FAX：(06)6773-0612

E-mail：souken@osaka-shinkin.co.jp URL：https://www.osaka-shinkin.co.jp